

豊明市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）案

人口ビジョン

人口減少問題の克服

長期的な見通し

2060年に人口61,000人を確保する

◆人の流れを変える

＜人口の流出に歯止めをかけ、流入を目指す。＞

- ・新たな住宅供給などによる、若いファミリー世代の人口流出を抑制
- ・立地環境を活かした住宅供給による人口流入

◆出生率を向上させる

＜2040年までに1.8へ上昇。＞

- ・若い世代が安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
- ・若者が地元で安心して働き暮らせる環境の充実
- ・女性が出産・子育てをしながら働き活躍できる社会づくり

◆活力ある地域をつくる

＜選ばれるまちになるために、まちの魅力を高める＞

- ・子育て世代と高齢者の双方にとって誇りや生き甲斐につながる「学びのまち」の推進
- ・次世代の人材・企業育成や産業誘致による地域産業の活性化
- ・駅前等の生活利便施設の充実や賑わいの創出とまちの魅力の発信

総合戦略（平成27年度～平成31年度5カ年）

[国の基本目標：地方における安定した雇用を創出する]

基本目標① しごと活力創生プロジェクト

～若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる～

【数値目標】

- ・法人市民税額（699,370千円） ・起業、創業件数（100件）
- ・市内就業者のうち市内在住者（1,775人）
- ・市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合（55.8%）

＜施策1＞地域の経済活動が盛んなまちをつくる

- ①魅力ある職場づくりを推進する
- ②産業の活性化を図る（重点施策）

＜施策2＞若い人たちの地元での就労を促進する

- ①若い人たちと企業をつなぐ仕組みをつくる

【具体的事業の一例】

- ・後継者育成・マッチング事業 ・起業・創業支援事業
- ・空き店舗を活用した活性化事業 ・市内中小企業の人材育成支援事業
- ・企業立地支援事業 ・道の駅設置検討事業 ・ブランドづくり開発事業
- ・中学生の職場体験事業 ・インターンシップ支援事業
- ・市内企業への就職活動支援事業 ・社宅整備等企業支援事業 など

[国の基本目標：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる]

基本目標③ 子どもの学びと育ち創生プロジェクト

～教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる～

【数値目標】

- ・0-14歳の子ども数（10,011人） ・出生率（8.8人）
- ・合計特殊出生率（1.53） ・子育てが楽しいと思っている市民の割合（88.8%）
- ・職場で働きやすいと思っている女性の割合（45.4%）

＜施策1＞子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

- ①仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
- ②男女の出会いの機会を創出する

＜施策2＞子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

- ①地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる

＜施策3＞女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

- ①職場で女性の活躍の場を増やす

【具体的事業の一例】

- ・病後児保育事業 ・ネウボラ事業（妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援）
- ・産後ケア事業、産婦健診助成事業 ・駅前保育実施事業
- ・男性に特化した子育て講座事業 ・婚活支援事業 ・放課後子ども教室事業
- ・土曜学習実施事業 ・英語活用能力アップ事業
- ・女性の復職支援プログラム事業 ・女性活躍セミナー開催事業 など

[国の基本目標：地方への新しい人の流れをつくる]

基本目標② ひとが集うまち創生プロジェクト

～誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる～

【数値目標】

- ・転出者数（年間2,996人） ・転入者数（年間3,626人）
- ・桶狭間古戦場関連の観光客数（年間50,500人） ・ふるさと納税額（5,000万円）
- ・市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数（148件）

＜施策1＞若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

- ①住み続けられる住宅・環境を確保する（重点施策）

＜施策2＞とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

- ①桶狭間古戦場を活かしたまちづくりの推進

＜施策3＞とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

- ①花の街プロジェクトの推進
- ②とよあけの魅力を発信する。

【具体的事業の一例】

- ・住居系市街地の整備促進事業 ・同居、空き家リフォーム促進事業
- ・親との同居・近居住宅購入補助事業 ・Uターン促進事業
- ・史跡を活用した観光拠点整備事業 ・桶狭間古戦場まつり開催事業
- ・花の街とよあけ推進強化事業 ・花のふるさと納税事業
- ・観光情報発信事業 ・市HPリニューアル事業 など

[国の基本目標：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する]

基本目標④ 暮らしの満足創生プロジェクト

～医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる～

【数値目標】

- ・医療や福祉施設、制度の利用者の満足度（58.9%）
- ・市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合（66.5%）
- ・自分達の考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合（22.2%）

＜施策1＞市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

- ①多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる

＜施策2＞自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

- ①拠点駅機能の強化
- ②生活拠点が整った持続可能性の高い街が形成される

【具体的事業の一例】

- ・いきいき笑顔ネットワーク事業（ICT包括ケアネットワーク事業）
- ・けやきいきいきプロジェクト事業（豊明団地の医療・福祉拠点整備、高齢者等の生活支援）
- ・駅前賑わい創出事業 ・前後駅周辺の都市機能充実事業 ・医療施設の充実事業
- ・地域公共交通の利便性の向上事業 ・コンビニAED設置事業
- ・まちづくりNPO支援事業 など